

京都から西国へと至る 西国街道

「西国街道」とは、京都(東寺口)から大山崎、高槻等、淀川右岸を通り、大坂を経ないで西国(下関、九州まで)へ至る江戸時代の重要な幹線道路のことで、京都から西宮までのルートは別名“山崎通”とも呼ばれていました。

幾多の人物が往来し、物資が流れ、情報や文化の伝播を担う動脈であった西国街道は、駆け抜けていった時代の軌跡とも云えるでしょう。



歴史街道推進協議会では、かつて西国街道が通っていた10市2町の協力を得て、西国街道マップ2021年版を作成しました。京都の東寺から神戸の三ノ宮駅まで、沿道の見所とあわせ、道標も紹介しています。

本マップご希望の方は「西国街道ウォーキングマップ希望」と明記し、140円切手を同封の上、下記まで郵送でお申し込みください。

※数に限りがありますので、お一人様1部限定とさせていただきます。

※マップのサイズ：A4 20P/カラー

◎2021年3月現在のデータをもとに作成しています。変更されている場合もありますので、お出かけの際にはあらかじめご確認ください。

[送付先]

歴史街道推進協議会「西国街道ウォーキングマップ係」
〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7階



歴史街道って、何?

日本の良さを再発見する旅筋です。



関西は国宝の約6割、重要文化財の約5割が集積する「歴史文化の宝庫」です。歴史街道は、日本の歴史文化の魅力を楽しみ、実感できる旅のルートとエリアです。日本史の流れにそってたどるメインルートと地域の特徴をいかした「3つのネットワーク」があります。



歴史街道倶楽部 入会キャンペーン実施中!

歴史には、その時代を生きた人々の経験や知恵がたまっています。新たな歴史の魅力を探してみませんか。

2022年3月末まで入会金(1,000円)と、家族会員は初年度のみ年会費(1,000円)が無料でご入会いただけます。

入会特典

- 1 会員誌「歴史の旅人」を年4回お届け。
- 2 ウォークやセミナーなど、会員限定のイベント(年間約20本)をご案内。
- 3 入会特典として、主催イベント割引券(2,000円分)と、QUOカード(500円分)をプレゼント!

	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
家族会員*	不要	1,000円(お一人様)

*個人会員のご家族の方

お問い合わせ・資料請求先

歴史街道倶楽部S係

〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7階

TEL.06-6223-7182

e-mail: club-info@rekishikaido.gr.jp

新型コロナウイルス感染症への対応に関して

各資料館・博物館では、新型コロナウイルス感染症への対応としてご来館の際、マスクの着用や手指の消毒等をお願いしております。また、各イベントの実施期間中に新型コロナウイルスが感染拡大する場合、イベントを中止する場合がございます。

お出かけの際は、各資料館・博物館のHP等で最新の情報をご確認願います。

マスク着用



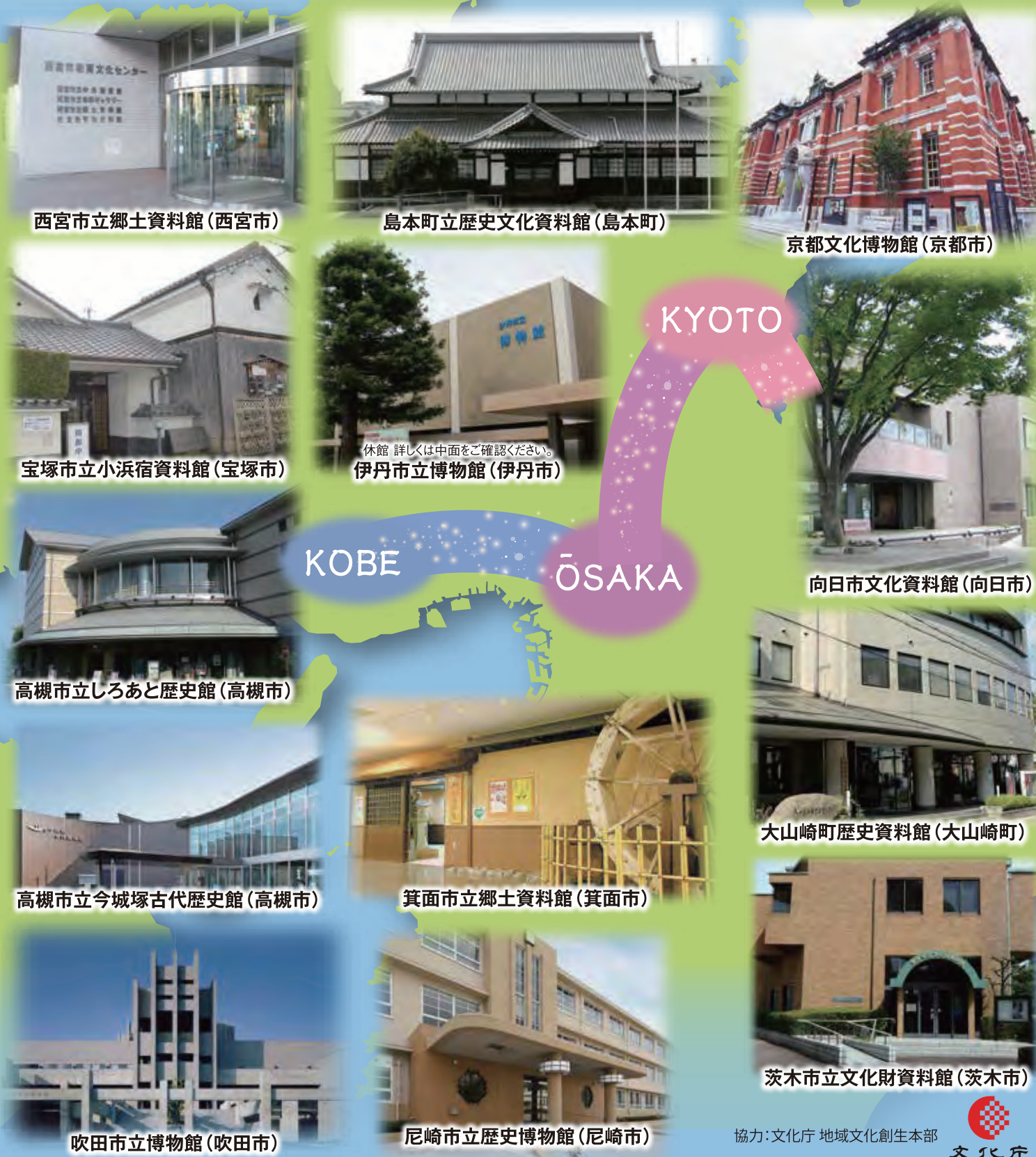
手指の消毒



魅力再発見 西国街道2021

歴史街道推進協議会が連携する

資料館・博物館の秋季イベントご案内



西宮市立郷土資料館(西宮市)

島本町立歴史文化資料館(島本町)

京都文化博物館(京都市)

宝塚市立小浜宿資料館(宝塚市)

伊丹市立博物館(伊丹市)

向日市文化資料館(向日市)

高槻市立しろあと歴史館(高槻市)

大山崎町歴史資料館(大山崎町)

高槻市立今城塚古代歴史館(高槻市)

箕面市立郷土資料館(箕面市)

茨木市立文化財資料館(茨木市)

吹田市立博物館(吹田市)

尼崎市立歴史博物館(尼崎市)

協力:文化庁 地域文化創生本部

西宮市立郷土資料館

第52回特集展示「道するべー西国街道・中国街道をたどる」

イベント内容

実施期間 令和3年 11/16(火)▶12/19(日)

江戸時代の西宮には、西国街道や中国街道などの街道がありました。街道を往来する人々にとって「道するべ」となった旅行案内記、道中の記録、路傍の道標。本展示では、西宮に関する「道するべ」から、江戸時代の西国街道・中国街道をたどります。

開館時間 10:00~17:00 入館料 無料 休館日 毎週月曜日 お問合せ 0798-33-1298

最寄り駅 阪神「香櫛園駅」、JR「さくら夙川駅」、阪急「夙川駅」から徒歩

ウォークイベント

実施日 令和3年 11/21(日)

文化財ウォーク「甲東周辺の文化財をめぐる」

イベント内容 西国街道・有馬街道が通る甲東地域の文化財を、道標を中心にめぐります。さくらFMとの共催で、現地解説・スタジオ解説を生放送します。※さくらFMの番組はインターネットで聴くことができます。

開催時間 9:30~12:30(受付9:00~) 集合場所 阪急「甲東園駅」 参加費 無料 定員 10人

申込み 往復ハガキに、イベント名・名前・住所・電話番号を明記し西宮市立郷土資料館 申込み締切 令和3年11月7日(日)必着 応募多数の場合は抽選。

島本町立歴史文化資料館

イベント① 「みちしるべー石に刻まれた歴史2ー」 実施期間 令和3年 10/13(水)▶12/12(日)

尺代から楊谷寺(柳谷観音)へ案内する丁石(一丁ごとに置かれたもの)をはじめ、町内に在る「みちしるべ」を紹介し、また、立体に復元した「みちしるべ」を展示します。

開館時間 9:30~17:00 入館料 無料 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)

お問合せ 075-961-3411 最寄り駅 JR「島本駅」、阪急「水無瀬駅」から徒歩

講演会 「町内のみちしるべを巡る」 10月30日(土)14:00~15:00 参加無料/定員55名(受付は13:00より) 講演:久保直子(当館職員)

イベント② 実物展示 町指定文化財「水無瀬駒 関連資料」 実施期間 令和3年 11/20(土)・21(日)

小将棋 漆書 八十二才銘 中将棋 墨書 八十六才銘 安土桃山時代から水無瀬神宮に伝わる将棋駒です。

開館時間 10:00~16:00 入館料 無料

資料館・博物館の秋季イベントご案内

京都文化博物館 令和3年 11/27(土)▶令和4年 1/23(日)

近代文化人ネットワークー太田喜二郎の周辺ー

点描風の明るい洋画と京都の近代洋画壇で活躍したことで知られる太田喜二郎。彼の残した資料群の調査ではじめて浮かび上がってきた、近代文化人の豊かな交流ネットワークの諸相を紹介します。

開館時間 10:00~19:30(入場は19:00まで) 入場料 一般500円、大学生400円、高校生以下無料 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、12/27~1/3 お問合せ 京都文化博物館 075-222-0888 最寄り駅 地下鉄「烏丸御池駅」、阪急「烏丸駅」、京阪「三条駅」から徒歩

向日市文化資料館

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)

入館料 無料

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、資料整理日(毎月1日、土日月の場合は次の平日)

お問合せ 向日市文化資料館 075-931-1182

最寄り駅 JR「向日町駅」、阪急「東向日駅」から徒歩

①国際シンポジウム関連特別展「向日庵と和紙の旅」 令和3年9/18(土)▶10/24(日) 10月16日に開催する国際シンポジウムに合わせて、寿岳文章収集和紙コレクションの全容を紹介し、英文学や書物など関連する分野の資料もあわせて展示する特別展を開催します。

②国際シンポジウム「20世紀の和紙ー寿岳文章 人と仕事ー」 令和3年10/16(土) 寿岳文章が1930年代後半に収集した和紙をテーマとした国際シンポジウムを開催します。

③特別展「日本画家・六人部阿峰の世界」 令和3年11/6(土)▶12/5(日) 向日神社の神官を代々務めてきた六人部(むとべ)家に生まれ、竹内栖鳳に師事した女性日本画家・六人部阿峰(きぼう)の画業を紹介する特別展を開催します。

大山崎町歴史資料館 令和3年 10/23(土)▶11/28(日)

第29回企画展 大山崎神人と豊臣秀吉「井尻家文書」の世界

鎌倉、室町時代、大山崎では油販売に従事した神人身分の人々が活躍していました。彼らのうち、井尻家という神人・社家の家から当時の歴史を振り返ります。

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで) 入館料 高校生以上300円 休館日 10/25(月)、11/1(月)、4日(木)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、24日(水) 臨時休館10/19(月)~22日(金)、11/30(火)~12/3(金) お問合せ 075-952-6288 最寄り駅 JR「山崎駅」、阪急「大山崎駅」から徒歩

【歴史講演会】参加無料/定員40名 往復はがき申込(詳細はお電話下さい)

11/6(土)第1回「播磨国と京都・大山崎神人」(仮) 11/20(土)第2回「織豊期検校研究の新展開からみた大山崎」 11/27(土)第3回「井尻家文書」の世界 大村拓生氏(兵庫県立歴史博物館) 前田 徹氏(兵庫県立歴史博物館) 福島克彦(当館)

【場所】ふるさとセンター3階ホール 【時間】13:30~15:30 【お問合せ】075-952-6288

高槻市立今城塚古代歴史館 令和3年 令和4年 開催中▶2/13(日)

開館10周年特別展「大王墓今城塚古墳の実像」

淀川流域最大級の前方後円墳、今城塚古墳の調査成果を紹介。形象埴輪や土器、副葬品など出土資料を一堂に展示しています。

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで) 入館料 無料 休館日 月曜日・祝日の翌平日・年末年始(12/27~1/3) お問合せ 高槻市立今城塚古代歴史館 072-682-0820 最寄り駅 JR「摂津富田駅」、阪急「富田駅」から市バス

高槻市立しろあと歴史館 令和3年 10/19(火)▶12/12(日)

〈関西将棋会館移転決定記念展〉 日本古来の伝統文化 将棋

関西将棋会館の高槻市への移転が決定したことを記念した特別展です。高槻城跡をはじめ、各地で出土した将棋の駒や、文献資料、錦絵などを展示し、将棋の歴史と文化を紹介します。

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで) 観覧料 一般200円、中学生以下無料 休館日 月曜日、11/4(木)、11/24(水) お問合せ 高槻市立しろあと歴史館 072-673-3987 最寄り駅 JR「高槻駅」、阪急「高槻市駅」から徒歩

茨木市立文化財資料館 令和3年 開催中▶11/29(月)

①文化財資料館第37回テーマ展 「ほとけの心・木のちからー蓮花寺と地域の美術ー」

蓮花寺地蔵菩薩立像の修理完成を記念し、蓮花寺と地域の歴史や美術を紹介する。

②第22回文化財資料館企画展 「東奈良遺跡発見50周年記念ー弥生集落と銅鐸生産ー」

東奈良遺跡の集落や生活、銅鐸の生産について紹介する。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料 休館日 火曜日(11/23を除く)11/4、24 お問合せ 茨木市立文化財資料館 072-634-3433(イベント期間中) 最寄り駅 大阪モノレール、阪急「南茨木駅」から徒歩

①テーマ展 ②企画展

吹田市立博物館 令和3年 開催中▶11/14(日)

吹田の絵図展

江戸時代の村絵図・川絵図などを展示し、当時の吹田の景観や人々の暮らしを読み解きます。講演会・歴史講座・クイズラリーなどのイベントあり。

開館時間 9:30~17:15 入館料 一般200円 休館日 毎週月曜日と11/4(木) お問合せ 吹田市立博物館 06-6338-5500 最寄り駅 JR、阪急「吹田駅」からバス

箕面市立郷土資料館 令和3年 10/8(金)▶12/1(水)

小松左京展

SF界の巨匠で箕面にも縁がありました小松左京。2021年は生誕90周年、没後10年の節目にあたります。SFの世界と70万博かつて箕面でくらしようすをご紹介します。

開館時間 10:00~17:00 入館料 無料 休館日 毎週木曜日 お問合せ 箕面市立郷土資料館 072-723-2235 最寄り駅 阪急「箕面駅」から徒歩

宝塚市立小浜宿資料館 令和3年 令和4年 10/1(金)▶3/20(日)

ミニ企画展 発掘!たからづか Vol.1 仁川高台遺跡

昭和53年に発掘調査された仁川高台遺跡をパネルや出土した土器等を展示して紹介する。

開館時間 10:00~15:00 入館料 無料 休館日 月曜・火曜・年末年始(12/28~1/4)・館内整理日 お問合せ 宝塚市立小浜宿資料館 0797-81-3655 最寄り駅 阪急「赤布神社駅」から徒歩又は、JR・阪急「宝塚駅」から阪神バス

尼崎市立歴史博物館

尼崎市立歴史博物館第1回特別展花開く江戸絵画 ~城下にぎわうころに~

令和3年 10/2(土)▶11/30(火)

「犬追物図屏風」や「洛中洛外図屏風」などの風俗図屏風、尼崎ゆかりの女流画家清原雪信の作品、当地が物語の舞台の一つとなった幸若舞曲を描いた「新曲図扇面」など、泰平の世を迎えた江戸時代前期の絵画で、尼崎城下がにぎわう頃の絵画の特色や時代背景を紹介する展示会。

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 入館料 無料 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、直後の平日休館) お問合せ 06-6489-9801 最寄り駅 阪神「尼崎駅」から徒歩

尼崎市立歴史博物館第1回特別展関連講演会 新発見の「犬追物図屏風」について

令和3年 10/23(土)

宮内庁三の丸尚蔵館 主任研究官 戸田浩之氏による講演会。

開館時間 14:00~16:00 入館料 無料 定員 50人(10/5(火)申込開始) お問合せ 06-6489-9801 最寄り駅 阪神「尼崎駅」から徒歩 ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては開催の中止、または延期等変更が生じる場合があります。

尼崎市立歴史博物館第1回特別展関連講演会 聚楽第行幸を描いた屏風について

令和3年 11/14(日)

堺市博物館 学芸係長 宇野千代子氏による講演会。

開館時間 14:00~16:00 入館料 無料 定員 50人(10/5(火)申込開始) お問合せ 06-6489-9801 最寄り駅 阪神「尼崎駅」から徒歩 ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては開催の中止、または延期等変更が生じる場合があります。

伊丹市立博物館に 関するおしらせ

伊丹市立博物館は2021(令和3)年10月1日(金)より休館します。2022年4月に伊丹市宮ノ前へ機能移転の上、伊丹市立美術館や伊丹市立工芸センター、伊丹市立伊丹郷町館、柿衛文庫と機能統合した(仮称)市立伊丹ミュージアムとして開館します。